

平成26年度 決算

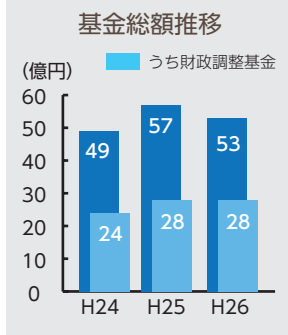
問合せ
財政課
73,8008

一般会計では、金津雲雀ヶ丘寮養護老人ホーム新築事業や保育所、公民館の改修事業を実施したことに加え、臨時福祉給付金や子育て世帯臨時特例給付金支給事業などにより、歳入歳出とも前年度をわずかに上回る決算額となりました。

市の貯金 — 基金残高

平成26年度末現在、15種類ある基金（貯金）の総額は、約53億円となっています。そのうち52・9%を占めるのが市の財政をやりくりするための貯金である「財政調整基金」です。

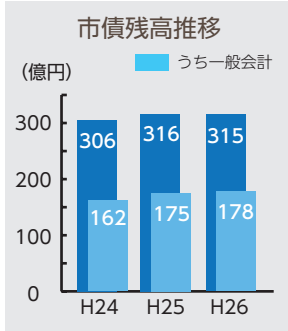
平成26年度は地域の元氣臨時交付金基金や金津雲雀ヶ丘寮基金の取り崩しにより、約4億円の減額となりました。



市の借金 — 市債残高

市の借金である市債の現在高は約315億円です。金津保育所改修事業などの借り入れにより、一般会計で増加しました。

公共施設の建設や改修の際に長期的な借金をする理由は、建設時の納税者だけではなく、施設を利用する次の世代にも負担を求めることで世代間の公平性を保つためです。



一般会計歳入決算額

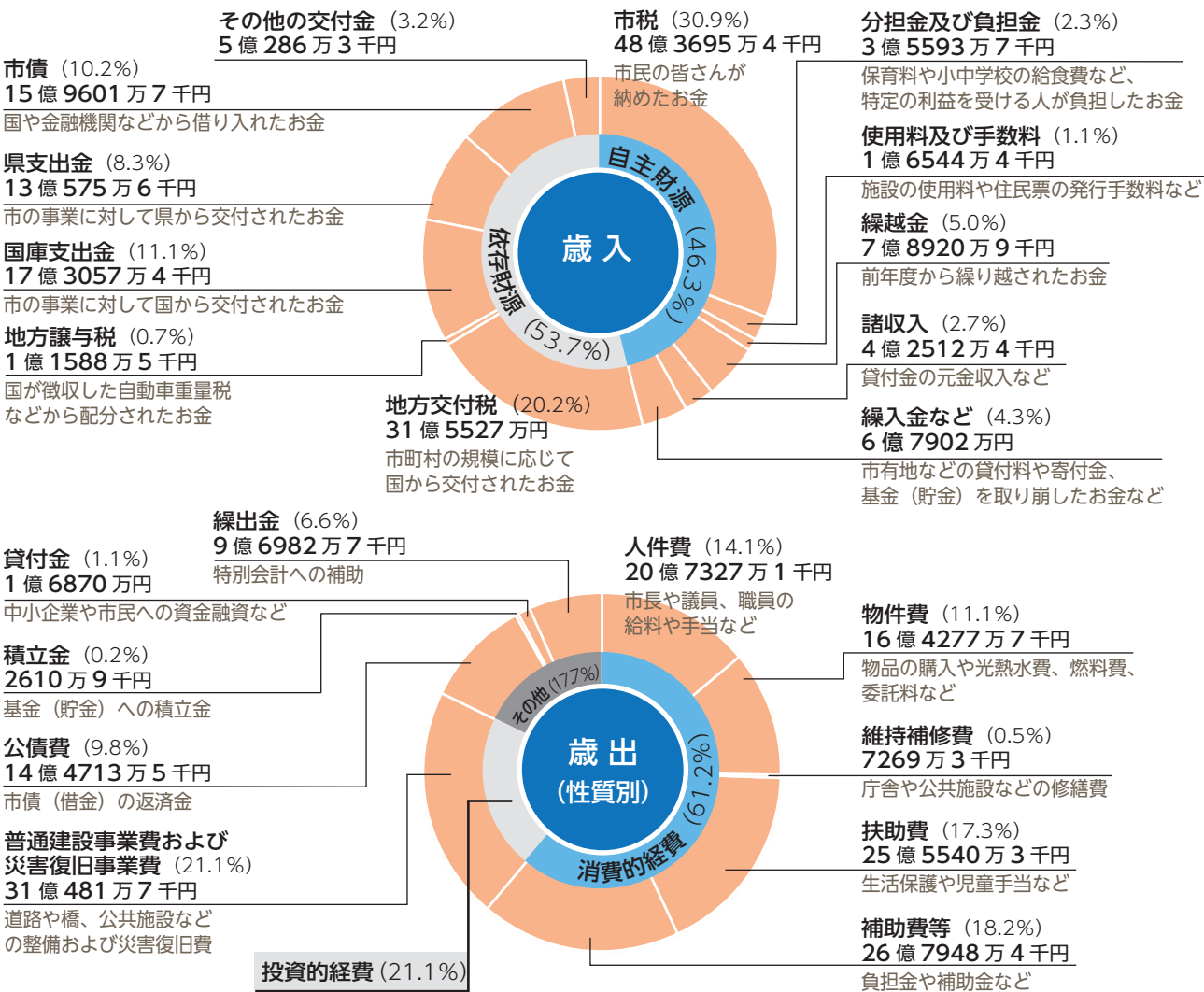
156億 5805万 3千円

(対前年度比 1.1%増)

一般会計歳出決算額

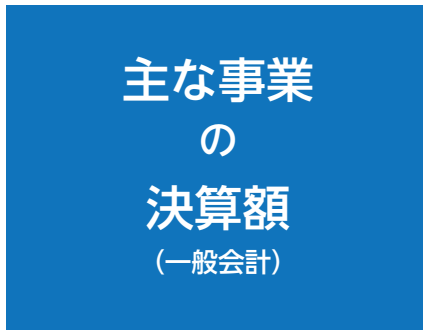
147億 4021万 6千円

(対前年度比 0.3%増)



各会計の決算額 (単位：千円)

		歳入総額 A	歳出総額 B	差 引 C=A-B	繰越すべき財源 D	実質収支 C-D
一般会計 (市の基本的な行政サービスの経費を収支する会計)		15,658,053	14,740,216	917,837	167,979	749,858
特別会計 (保険料などの特定収入で特定の支出に充てる会計。収入の使い道が決まっているため一般会計とは分けています。)						
国民健康保険特別会計		3,172,380	3,090,110	82,270	0	82,270
後期高齢者医療特別会計		299,769	299,531	238	0	238
産業団地整備事業特別会計		1,966	220,076	△ 218,110	0	△ 218,110
農業者労働災害共済特別会計		3,069	3,058	11	0	11
企業会計 (一般の会社と同じように、独立した収入でその経費をまかなう「独立採算」を原則とする会計)						
水道事業会計	収益的収支	790,987	1,180,560	△ 389,573	0	
	資本的収支	98,487	323,230	△ 224,743	8,459	
工業用水道事業会計	収益的収支	11,341	11,273	68	0	
	資本的収支	0	0	0	0	
公共下水道事業会計	収益的収支	1,174,142	1,153,385	20,757	0	
	資本的収支	857,182	1,208,895	△ 351,713	70,272	
農業集落排水事業会計	収益的収支	76,844	74,910	1,934	0	
	資本的収支	13,300	28,887	△ 15,587	0	



歳出を目的別で見た決算額と市民1人当たりの決算額

※ () 内は1人当たりの決算額。平成 27 年 3 月 31 日現在の
住民基本台帳人口 (2 万 9300 人) で計算しています。

民生費 53 億 3767 万 6 千円 (18 万 2173 円) 保育所運営、 障害者・高齢者福祉など	教育費 18 億 2802 万 4 千円 (6 万 2390 円) 学校、公民館、体育施設 の整備や維持管理など	土木費 14 億 6464 万 6 千円 (4 万 9988 円) 道路、橋、公園、市営住 宅の整備や維持管理など
公債費 14 億 4808 万 6 千円 (4 万 9423 円) 市債 (借金) の返済	商工費 12 億 6351 万円 (4 万 3123 円) 企業誘致、商工業の振興、 観光推進など	総務費 12 億 2187 万 4 千円 (4 万 1702 円) 戸籍や住民票の管理、 防犯対策、財産管理など
衛生費 6 億 8739 万 3 千円 (2 万 3461 円) ごみ処理、予防接種、 妊婦・乳児健診など	農林水産業費 6 億 4298 万 6 千円 (2 万 1945 円) 農林水産業の振興や農道、 排水施設の整備など	消防費 5 億 5649 万 8 千円 (1 万 8993 円) 消防施設や災害対策など
議会費 1 億 8162 万 1 千円 (6199 円) 議会の運営	労働費 7512 万 1 千円 (2564 円) 雇用対策、市民への 生活資金融資など	その他 3278 万 1 千円 (1118 円) 基金 (貯金) への積立金 や災害復旧費など

目的別で見ると、民生費が全体の3分の1以上を占めています。これは、福祉にかかる事業の比重が大きいことと、金津雲雀ヶ丘寮養護老人ホーム新築や認定こども園化に伴う保育所の改修を行ったためです。

歳出決算額 (目的別)
147 億 4021 万 6 千円
市民1人当たりの決算総額
50 万 3079 円



あわら市の健全化判断比率と資金不足比率

健全化判断比率

区分	早期健全化基準	財政再生基準	H 26
実質赤字比率	13.61%	20.00%	(赤字なし)
連結実質赤字比率	18.61%	30.00%	(赤字なし)
実質公債費比率	25.0%	35.0%	9.3%
将来負担比率	350.0%	(基準なし)	41.0%

※ 早期健全化基準は、各市町村の財政規模に応じて異なり、表中の基準はあわら市において適用される基準です。

平成 26 年度決算に基づく各指標は次のとおりで、実質公債費比率は数値が年々改善されるなど、いずれの比率も財政悪化を表す国の基準を下回っています。また、産業団地整備事業特別会計については、資金不足の解消のため、未売却土地の早期売却に努めています。

資金不足比率

会計名	経営健全化基準	H 26
産業団地整備事業特別会計	20.0%	12.9%

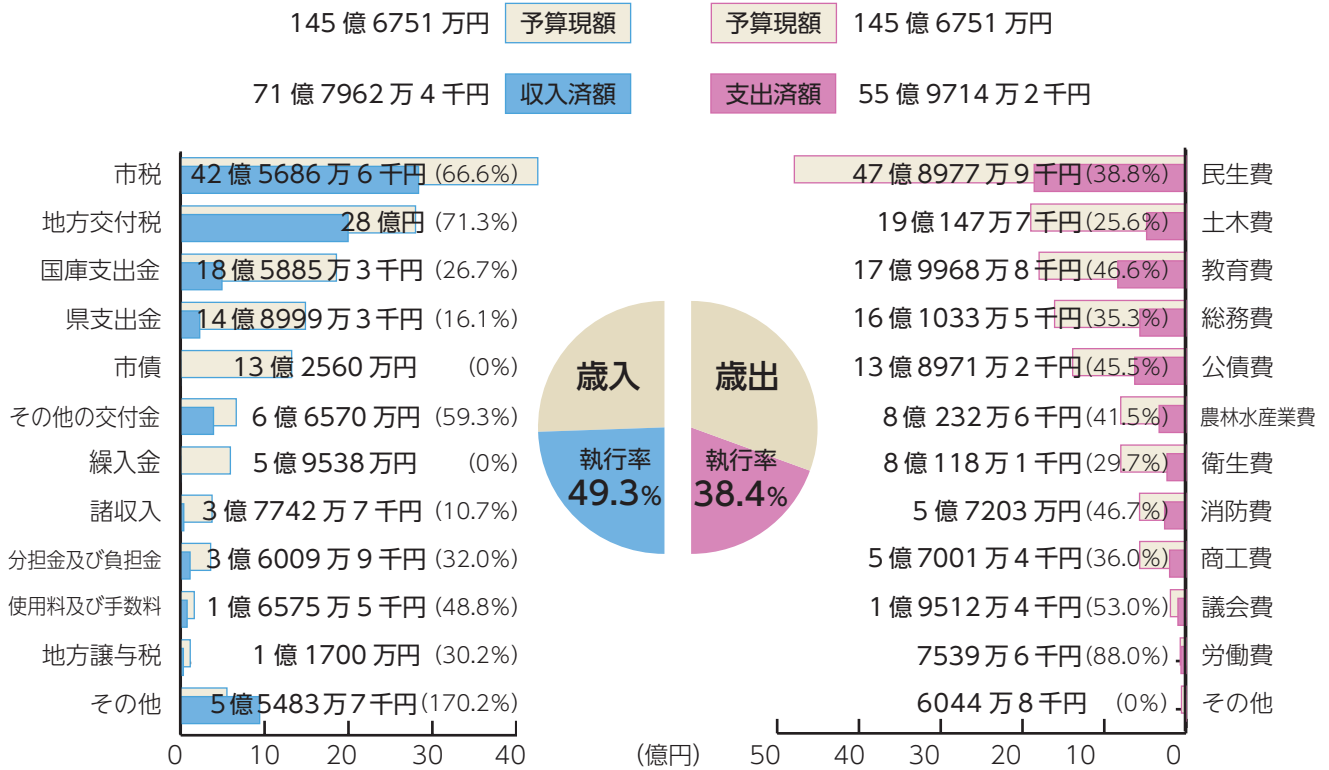
※ 水道・工業用水道・公共下水道・農業集落排水事業会計は資金不足が発生していません。

あわら市は
基準をクリア
しています

平成 27 年度上半期の 予算執行状況 をお知らせします

一般会計歳入歳出予算執行状況 (平成 27 年 9 月末現在)

グラフの数値は予算現額、() 内は執行率です。



※ 予算現額には平成 25 年度・平成 26 年度からの繰り越し分を含んでいます。